

# マリナーライフ

[ Vol. 225 ]

今年の干支(えと)は丑(うし)! 十二支動物では「牛(うし)」  
 海の牛といえば、やっぱり「ウミウシ」



海で「うし」といえば、やっぱり「ウミウシ」のなかまたちですよ。日本では、ウミウシの頭に生えている2本の角(触角)を牛にたとえて「海牛」と呼ばれ、英語では「sea slug (海のナメクジ)」と呼ばれます。どちらも見た目からくるイメージですが、みなさんはどちらのセンスがお好み?? (笑)

美しい色彩をもつウミウシたちは、まるで「海の宝石」。種類が豊富なおうえに新種が見つかることも多く、和名の無い種もたくさんいます。分類学的には、貝殻が退化したり、全く無くなってしまった“巻貝の仲間”です。海の生き物を見るなら“水族館”と思う方も多いのではないかと思います。実はウミウシに関しては、企画展や特別展として展示されていることはあっても、常設展示を行っている施設はあまり多くはありません。これには、ウミウシたちの食性が関係しています。同じ種類のウミウシであっても、採集された場所が違えば好みのエサも異なる場合があるため、エサの確保が難しく、安定して飼育できないことが大きな要因ともいわれています。

季節の移り変わりとともに見つけることができるウミウシの種類も変わるので、天然の“水族館”である海岸に出かけ、今年の干支をさがしてみませんか?



江田島市周辺では50種類以上のウミウシのなかまがみつかります!

# やってみよう 見てみよう

「さとうみ にくらす いきもの のうた (シリーズ3)」の巻

## 「エタジマホンヤドカリ」の歌を知っていますか？

先月、能美図書館が制作している児童文学誌「小鳥」の第16号（右写真）が発行されました。もうご覧になりましたか？最新刊のトップを飾るのは『エタジマホンヤドカリ』という童謡です。作曲は、さとうみ科学館友の会会員の山村和子さん、作詞は、さとうみ科学館の木村さつき支援員。以前、このニュースレターでも紹介した童謡「ウミホタル」「チビカブちゃん〜てのひらのカブトガニ〜」に次ぐ、海の生き物シリーズ第3弾です！



「エタジマホンヤドカリ」は、平成26年2月、この江田島市で発見された新種のヤドカリです。脚がとても長い、共生するヒドロ虫が宿となる巻貝状の殻をつくってくれる（大きくしてくれる）、ホンダワラなどの海藻上をおもな生活場所としている、などのユニークな特徴を歌で表現した楽しい作品です。今回は、曲の音源も、さとうみ科学館HP内にあるブログ「シオマネキちゃん日記」で公開するので、ぜひ一度、きいてみてください。いっしょに歌ってね！

### ◆ 作曲者からのメッセージ ◆

木村さんの詩にメロディをのせ、主役のエタジマホンヤドカリが他種のヤドカリと対話する楽しい曲がきできました！

(山村和子)

### ◆ 作詩者からのメッセージ ◆

前回の「チビカブちゃん〜てのひらのカブトガニ〜」は、ボリュームある作品だったので、今回はスパッと短くしてみました。山村さんが付けてくれた曲が、軽快・愉快・ピッタリで、聴いた人の笑顔を引き出す、とても素敵な作品になりました！

(木村さつき)

### 【 さとうみ科学館ブログ：「シオマネキちゃん日記」 】



ブログタイトル：「きいてね！」でチェック！

下記↓タイトルをクリックして、ぜひ聴いてみてくださいね！

- ♪ ウミホタル
- ♪ チビカブちゃん〜てのひらのカブトガニ〜
- ♪ エタジマホンヤドカリ



エタジマホンヤドカリ

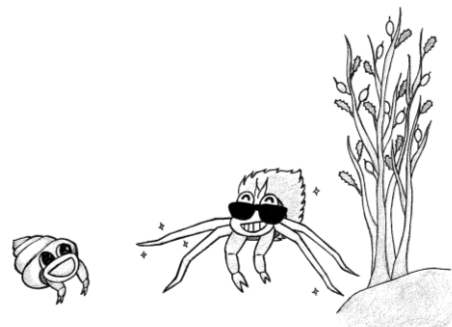
曲 詩 山村和子

一 あれ？ からがふさふさしているね  
きみはだれ？

二 あれ？ あしがすーとながね  
きみはだれ？

三 あれ？ おうちがホンダワラなんだね  
きみはだれ？

だっておれは 新種ヤドカリ  
そうかきみは 新種ヤドカリ  
エタジマホンヤドカリ







## 施設内衛生環境の改善(新型コロナウイルス感染予防対策)

# トイレ改修工事のお知らせ

現在、さとうみ科学館本館のトイレ改修工事を行っています。様々な年齢層の方が利用されるとともに、災害時の指定避難所にもなる施設であるため、男・女両トイレの大便器(和式)の一部を洋式化、小便器の一部を床置型にするという工事です。フタのある洋式は、和式と比べ飛沫拡散防止に一定の効果があるとされ、今後もしばらく続くコロナ禍での事業運営を見据え、施設内の衛生環境の改善を図ることで、利用者の安心・安全を実現させ、継続的なサービス提供を行っていかうと考えています。

なお、工事にもなると、一部トイレが利用できない階が生じます(日によって利用できる階が変わります)。いつも館を利用されている皆様には、工事期間中大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



現在の男子トイレ



現在の大便器(和式)

## 潮見表 2月の観測に適した日時 (干潮時刻と潮位)

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
時分	5:56	6:35	7:16	8:01	8:56	10:22	12:17	0:32	1:41	2:36	3:22	4:03	4:39	5:13	5:44
cm	-11	8	39	77	118	151	160	53	32	12	-4	-11	-10	-1	15
時分	18:25	19:05	19:48	20:37	21:40	23:06		13:41	14:36	15:20	15:57	16:14	17:06	17:37	18:07
cm	63	59	60	64	69	67		147	126	107	91	64	70	64	62
2月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
時分	6:13	6:42	7:47	7:47	8:34	10:09	12:51	0:25	1:32	2:22	3:05	3:45	4:24		
cm	36	62	123	123	155	179	174	87	63	35	9	-11	-21		
時分	18:37	19:40	20:20	20:20	21:17	22:49		13:54	14:32	15:06	15:39	16:14	16:49		
cm	62	75	86	86	97	100		153	130	107	85	64	46		

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

令和3年 潮汐表(海上保安庁)から

潮位30cm未満(網掛けにしている日)が調査に適しています。

## 事務局だより

- テレビ取材・・・新年からテレビ取材が続いています。1つは、広島ホームテレビ「みみよりライブ5up」(1月18日放送予定)、もう1つは、RCCテレビ「ランキンLand」(1月22日放送予定)です。いずれも「江田島市」の特集で、市内各所を巡り、魅力を紹介する中の1つとして、さとうみ科学館にも取材にられました。館そして江田島市の良いPRになればと思います。多くの方々に存在を知っていただき、コロナの感染状況が落ちついたら、また来館していただけたらと思います。



- 投稿・情報大募集・・・みなさんからの投稿をお待ちしております。次号Vol. 226(2月15日号)原稿締切は、2月12日(金)です。

江田島市教育委員会 大柿自然環境体験学習交流館

## さとうみ科学館 Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214  
 広島県江田島市大柿町深江1073番地1  
 TEL:(0823)57-2613  
 FAX:(0823)40-3100  
 メール:satoumimail@yahoo.co.jp  
 HP:『さとうみ科学館』で検索

### ◆事務局スタッフ◆

館長:西原 直久  
 主任:平山 良太  
 運営指導員:大下 敏幸  
 運営指導員:花崎 直子  
 支援員:木村 さつき



(友の会会員 シニア 165名 ジュニア 123名)

◆あとがき◆「ふるさとの自然」作品コンクールの作品が次々に届き、イラストをパソコンに取り込む作業を黙々としています。応募者全員の名前と生物名の入力!大変だけど毎年楽しい作業。今年も素敵な作品がたくさん。ありがとうございました。(花崎)